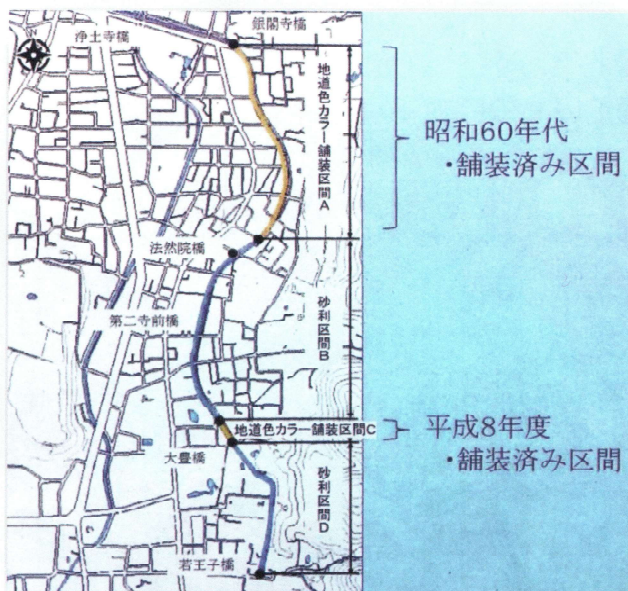


100年先 200年先に 残せる道を！

去る10月7日に京都市役所で、「哲学の道」の舗装化の検討も含めた、第一回『哲学の道デザイン検討会議』が開催されました。保勝会からは委員1名が出席しました。フリートーキングで、委員10名が各自、「哲学の道」に対する思い、意見を自由に発言する形で進みました。

保勝会の発言（要旨）

1・最近の気候変動による猛暑、酷暑。まだまだ続くと言われる地球沸騰化の時代、その影響は人間だけでなく、桜の木をはじめとする生物に計り知れないダメージを与えるのではないかと。



(京都市検討会議資料より)

2・そのような状況だからこそ、「土の道」の優位性がある。舗装に比べて表面が高温にならず、桜が涼しい木陰を作り、歩行者のみならず、ペットや、虫、その他もろもろの生物にとっての優しい道になる。

3・私たちが望むのは、車椅子使用者や弱者に優しく、きれいに整備されて水たまりもない、土埃も少ない風情のある「土の道」。土埃が大きなデメリットとして語られるが、未舗装路に使用して埃を低減する土壌安定防塵剤も40年以上前から販売されている（そういうものを行政が使ったらいいのでは）。

4・「哲学の道」は特別な道である。日本の優れた道として「日本の道100選」に選ばれているのは、京都府からは「哲学の道」と「天橋立」の2件のみである。